

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) ナガオ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0831 岡山県岡山市北区京橋町10番17号	
本票作成	部署名：ナガオ株式会社 宮浦工場 製造部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	事業内容：水酸化ソーダ、硫化ソーダ製造販売 事業活動の規模：生産量12000t、従業員数65名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	宮浦工場		岡山県岡山市南区宮浦221	
	②	本社		岡山県岡山市北区京橋町10番17号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	4,208 t CO ₂			4,081 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	宮浦工場		4,173 t CO ₂					
	②	本社		35 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ・算定に用いた指標：宮浦工場の生産数量 (t) [原液濃度換算実施] ・用いた理由：宮浦工場の温室効果ガス排出量が、全体の大部分を占める為	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.407 t CO ₂ / (t)	0.395 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

過去実績より、目標削減率は、3%を妥当とした。
 生産数量は、社会情勢に非常に左右され、温室効果ガス排出量の場合、受ける影響が大きい。
 原単位についても、社会情勢の影響は受けるが、温室効果ガス排出量より影響が小さく、省エネ成果を把握しやすい為、原単位基準を選択した。

【目標削減率達成のための推進体制】

○組織名：省エネ推進委員会
 ○事務局：製造部
 ○推進責任者：製造部部长、委員会リーダー：製造部課長
 年間活動計画を基に、活動を実施し、3ヶ月に1回の頻度で、委員会を開催している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
宮浦工場	○蒸気配管の断熱更新、補修工事の実施。（平成22年～平成26年） ○照明の省エネタイプへの変更。（平成22年～平成26年） ○エアコンの改善〔省エネタイプへ変更、遮熱効果の向上〕（平成22年～平成26年） ○ボイラ運転の見直し〔燃焼調節、スケール除去剤添加、蒸気噴霧量変更〕。（平成22年～平成26年） ○スチームトラップの仕様変更と、点検管理の実施（平成22年～平成26年） ○モーターのインバータ制御（平成22年～平成26年） ○冷凍機の更新（平成26年）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
宮浦工場、本社	○ボイラの更新：高効率ボイラの導入 ○エコカーの導入 ○断熱材の再点検と補修 ○水銀灯の省エネタイプへの変更 ○エアコンの改善 ○受電設備の効率化 ○スチームトラップの仕様変更

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--